夕刊
臺灣日日新報
十一月十六日

聖慮畏し戸田侍從を臺灣に御差遣御沙汰

大東亞戰爭下 外地民草に大御心

【東京發同盟】畏くも天皇陛下には大東亞戰下銃後國民の眞摯敢鬪の樣を具さに親察あらせられる思召をもつてさきに一道三府四十三縣の內地各地に侍從を御差遣、續いて樺太、朝鮮、關東州にも侍從を御差遣あらせられたが十六日重ねて臺灣總督府管下には戸田康英侍從を、又南洋廳管下には久松定孝侍從を夫々御差遣あらせられる旨御沙汰あらせられた、畏き聖旨を奉戴して兩侍從は近く現地に赴き、食糧增産に、國防の第一線に總力を盡ける外地民草の民情を具さに視察することになつてゐる

畏き大御心に感泣

聖慮に應へ奉らん

長谷川總督謹話

長谷川總督

[illegible]

有難き御沙汰拜し粉骨碎身總力發揮

內務大臣謹話

大東亞大臣謹話

內務大東亞兩相謹話

[illegible]

新國民運動趣旨徹底

翼賛會合同會議開く

[illegible]

一切の國民的活動翼賛の實踐に歸一

安藤副總裁の挨拶

[illegible]

アルジエリー沖で海戰

チユニジア樞軸軍增强

米英軍邀擊の態勢完了

[illegible]

英巡レアンダーを擊沈

伊海空軍、地中海に活躍

決戰の機近づく

[illegible]

船團十八萬噸擊沈破

巡三擊沈、空母三損傷

佛領アフリカ沿岸 樞軸空海軍の大戰果

[illegible]

佛緊急閣議

ブリノン氏 ヴイシー着

[illegible]

北阿全局決戰迫る

ロメル將軍、全樞軸軍指揮か

[illegible]

佛軍大部隊 ツーロン到着

ツーロン港佛艦隊 ペタン元帥に忠誠

皇民の機能

[illegible]

米國務次官を西國大使訪問

[illegible]

戰力增强協議會

翼政會の第二回總會

[illegible]

督府局部長會議

南佛進駐完了

駐英ソ聯大使演說

日佛印融和の實

定例次官會議

佛駐剳伯外交官に引揚訓令

同印提携運動頓挫

[illegible]

海軍補職發令

海軍省公表

[illegible]

皇奉中央本部人事異動發令

滿國報道關係者の臺灣視察中止

ユーゴ前攝政ケニアで抑留

昆布、錫の規格公價改正

人事

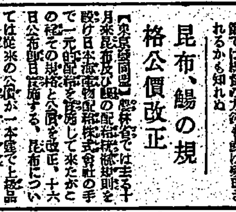
[illegible]

專門家の使ふ鉛筆

トンボ鉛筆
强い・書きよい・削りよい
東京 株式會社 トンボ鉛筆製作所

新時代の榮養消化劑
INABATA
アイオミン錠
AM-14
●文獻進呈・各地藥店にアリ
二〇錠 二・〇〇
七五〇錠 五・五〇
胃腸の強弱期に於ては胃腸の消化即ち抗病力の低下を防止せねばならぬ之がためにはビタミンB・D乳酸菌消化酵素、燐酸カルシユムを同時に含有する本劑の服用が推奨される
適應症
虛弱體質
姙産婦榮養
乳幼兒榮養
便秘・下痢
消化不良
發賣元 株式會社 稻畑商店
大阪市南區順慶町二丁目
製造元 合名會社 日東保健科學研究所

勤勞の肌に美整と健保



クラブ乳液 藥用
專賣特許の水
モルンピカ水
中山太陽堂
東京・大阪 株式會社

腎臟疾患
危險なる尿毒症、高血壓に推賞せらる
病的蛋白の顯著なる減退は醫家の齊しく驚嘆せらる所にして全國官公立病院指定御採用の榮譽を擔ふ
アルワチン
日本藥品洋行

神經痛 リウマチス劑
アトカルミン錠

腸
下痢、消化不良、腸カタル、便秘等
全國官公立病院御採用品
乳酸菌製劑
エンテロノン
總べての腸胃諸疾患、特に乳幼兒の消化不良、綠色便に廣く賞用せらる
日本藥品洋行

重要物資第一主義
生産擴充に一層努力
地方長官會議出席 森部總務局長談

【東京本社特電】戰時行政の運用[illegible]を圖るため大東亞省の設置、内外地行政の一元化實現後の初の戰時地方長官會議は十三日から總理大臣官邸に於て開催されたが、同會議に出席の森部總務局長は[illegible]出席者を代表して左の如く語つた

畏くも
天皇陛下に於かせられては大東亞戰下御宸務、御政務共に御多端に亙らせられる折柄今回の臨時地方長官會議を開催の初頭に一同に對して特に
拜謁を賜り 民草に垂れさせ給ふ大御心の程を拜察して恐懼した次第であります。會議に就ては東條首相、湯澤内相始め各相が何れも[illegible]特に首相内相からは行政簡素化、大東亞省設置に伴ふ内外行政一元化に依る戰時行政の運用刷新に就き[illegible]内地同樣と外地[illegible]は皇道の精神に基づき渾然一體となつて大東亞建設の中核として[illegible]の大業に貢獻するのである

ると言明、非常に外地に對して理解を有して居られることを知り欣快に思つた、これに依り一層皇民錬成運動に拍車が加はると思ふ、次いで戰時下最も緊要なる生産擴充問題に就ては重要物資第一主義を各相が口を揃へて强調されたが臺灣に於ては國民生活必需品たる米、砂糖の他に石炭に就ても増産に努め[illegible]が出來る程努力してゐるが今回の會議の状況が食糧の時間がない[illegible]心にこの生産力の問題に就き[illegible]繰り返された状況から見て我が臺灣は從來も努力して來たが今後も一層努力するやう決意した次第である

若鷲・南方に散る
大東亞戰に武勳赫々

【臺東電話】宜蘭郡[illegible]出身陸軍航空兵曹長上岡宏氏は大東亞戰爭に參加して、去る十月十九日南方戰線で名譽の戰死を遂げた旨同部隊長より通知があつた、同氏は[illegible]上岡[illegible]三郎氏の[illegible]の次男で本年二十歳、昭和十四年三月宜蘭郡[illegible]三年から東京陸軍航空學校へ入學優秀な成績を以て十六年十一月卒業後、陸の荒鷲として大東亞戰に參加、武勳に[illegible]は嚴父上岡氏[illegible]三[illegible]さん、姉ちゑ子さん、妹[illegible]氏、兄男作氏（目下比島出征中）兄[illegible]氏（臺北[illegible]研究所に勤務）妹[illegible]高女[illegible]在學中の[illegible]子さんがある、同家を訪へば嚴父上岡氏は

今年六月頃臺北へ出張の時、家に立寄つた時笑ひながら今度お父さんにお目にかかるのは靖國の社頭だとその時から既に戰死は覺悟して居りました、その後戰地からは『元氣旺盛、また戰線』と一度便りがあつた切りでした、その外何も申上げる事はありませんが只一つ殘念なことは戰死が少し早過ぎたことです

と語つた（寫眞は故上岡兵長）

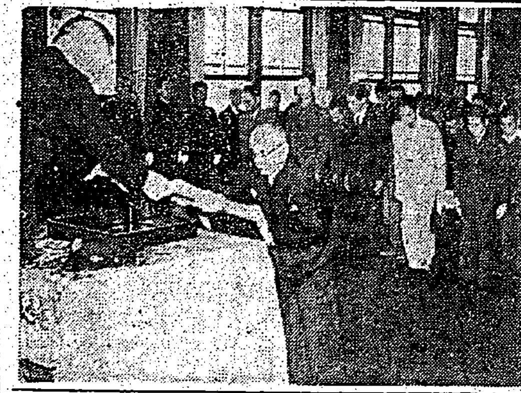
江原軍醫中尉戰病死
南方戰線に武勳遺し

臺北市西門町三ノ三故江原[illegible]郎氏の三男、陸軍軍醫中尉江原[illegible]郎氏は十月二十五日名譽の戰病死を遂げた旨留守宅に公報があつた、江原中尉は臺北帝大出身で南方比律賓戰線で活躍中病魔に侵され惜しくも陣歿したものである、自宅には母堂トクさん、兄榮太郎君（醫學博士）、弟[illegible]君（出征中）弟敏郎君（[illegible]）がある

同正郎君（一中）が應召であるばかりであるが母堂トクさんは重なる悲しみにも淚一つ見せず健氣に語る

公報の入つた時は父が病床にありましたので知らせませんでした、勿論正郎にも父の病氣は知らせてありません、[illegible]郎は未だ若いのでもつともつと御國のため御奉公させたかつた、早く亡くなつて……このことのみが殘念でたまりません、それに兄達や弟がまだ元氣ですから早く亡くなつたこの子の分までもきつと働いて吳れるものと信じてゐます（寫眞は故江原中尉）

御救恤金傳達式



臺北市では七月十一日本島北部を襲つた暴風雨被害者に對する畏きあたりより御下賜の御救恤金傳達式を市正廳で擧行、山下[illegible]助役、[illegible]助役、課長、市會議員、區長[illegible]官民が列席、先づ[illegible]課長ののち[illegible]市長より被災者百六十四名に對し御救恤金を傳達、終つて[illegible]を朗讀これに對し被災者を代表して[illegible]芳太郎氏が奉答を述べて被災者一同いづれも聖恩の無辺に感泣、罹災者相扶けて自力復興に努め聖旨の萬分の一にも報い奉らんと誓ひ合つた（寫眞は同傳達式）

祭粢料、賞賜品傳達
けふ・臺北陸軍兵事部で擧式

支那事變に參加赫々たる武勳を大陸の野に輝かした故陸軍軍醫中佐林恒夫以下二十四氏に對して畏き邊りより下賜された祭粢料並に賞賜物件の傳達式は十六日午前十時より臺北陸軍兵事部で擧行、宮田兵事部長以下百瀬少佐、佐々木少佐、川崎大尉、原口中尉、中尾市兵事課長、州兵事係等列席その他遺族關係者が參列嚴かに遺族及び關係者に傳達され同十時半盛儀裡に終了した、尚祭粢料並に賞賜物件傳達者は次の通り

祭粢料 故陸軍軍醫中佐林恒夫

賞賜物件 故陸軍軍醫大尉[illegible]本辰次、故陸軍大尉村山通、同池田武氏、同山本正、同鶴長兩、同山本忠雄、同太田福、故陸軍中尉山岡伸治、同渡邊辛一、故陸軍主計中尉小川誠一、陸軍中佐山本良三、同川上裕一、陸軍上等兵中原大男、同平戸常登、同一等兵橋本仁郎、同入江貢、同八百村秀男、同吉田秀夫、元陸軍看護婦太田きくゑ、陸軍上等兵岩瀬勝郎、同一等兵松井健、同山之内敏夫、軍屬甲斐只一、同[illegible]能貴（寫眞は同傳達式）

基隆市、郡第二次合宿軍事訓練開始

【基隆電話】決戰下若人の心身を鍛錬して軍人精神を體得せしめ[illegible]幹部の指導者とする爲基隆市基北州支部では十[illegible]日から十日間州下[illegible]ケ所に於て第一期第二次訓練を實施する事になつたが基隆市部に於ては金山[illegible]第五訓練所に市郡の第一次訓練の結果選拔された成績優秀な青年百十名を合宿させて[illegible]訓練を施す事になり十六日午後三時から同所で入所式を擧行した

臺北市奉公壯團 城北分團常會

臺北市奉公壯團城北分團本部の改組改革に伴ふ城北分團の初常會は十五日午後七時より[illegible]公會堂に於て開催、[illegible]市長、[illegible]分團長、岡田副團長以下團員四十餘名出席、開會の挨拶を述べて議事に入り小出分團副團長より分團組織經過の報告、分團内規の發表あり次いで大東亞戰爭一周年記念行事並國民府[illegible]協力に關する件を協議、各團員より分團將來の活潑なる活動[illegible]に對する眞摯な建設的意見を陳述、終りに[illegible]村市長及[illegible]分團長の訓話あつて同十時半散會した

米海軍遂に損害自認
ガダルカナル島附近海戰 敗戰を隱し切れず

【リスボン十四日發同盟】ワシントン來電に依れば南太平洋方面の重大に互る敗戰に遂に從來の[illegible]の損害を[illegible]小出しに發表するを常としてゐた米國政府も今次のソロモン群島ガダルカナル島附近の海戰については大本營の正確無比な公表を前に遂に敗戰を隱しきれず十四日海軍省コンミユニケを以て海戰の事實並びに米國の損害を認めて次の如く發表したと傳へられる

ソロモン群島方面では十二日より大規模な海戰が開始された、戰鬪は現在依然繼續中で米軍は損害を受けたが海戰の詳細については敵側に有利な情報を提供するを避けるため現在發表し得ない、但し地中海方面の戰鬪は唯一回の海戰に終らず戰鬪は繼續して行はれてゐるから一回だけの戰鬪の結果を以て局勢を判斷すべきではない

樞軸國の意氣揚る

【チユーリツヒ十五日發同盟】ソロモン群島ガダルカナル島附近の海戰に關する十四日の大本營發表は歐洲各國に重大な反響を與へ米軍の偽瞞發表を粉碎として樞軸國は全面的に歡迎した[illegible]中大本營發表が[illegible]一撃に吹飛ばされてしまつた、就中大本營發表を率直に公表した中立國[illegible]は海戰の結果發表を遲らせる米國政府の態度と對照して大本營發表に對する信頼の念が一層深められるに至つた、更に消息筋では最近米國政府が國民の不滿を緩和するため從來の[illegible]主義を捨てて寧ろ大げさな[illegible]を指摘、米國政府が今回の敗戰を[illegible]した[illegible]利な情報を提供せぬため海戰の詳細は暫らく發表を差控へる」と言ひ出したのはガダルカナル島附近の海戰で米國艦隊が大損害を受けた證左と見てゐる

白衣の勇士慰問演藝會

【基隆電話】基隆愛國婦人會では十八日午後一時から基隆[illegible]に來基中のレコード歌手井田照夫一行の音樂舞踊慰問隊を招聘して第三回[illegible]慰問會を行ふが夜間は七時から一般にも公開する

赤十字日奉告、祈念式
けふ・日赤博物館で行はる

【東京發同盟】十六日は日本赤十字社が萬國赤十字同盟に加盟して十年、この日午前十時から東京芝の日赤博物館講堂で第十[illegible]回赤十字[illegible]日奉告式並に[illegible]祈念式が行はれた、社長徳川[illegible]公、島津副社長を始め役員、遺族、白衣の天使ら[illegible]百餘名參列、國民儀禮の後德川社長は初代並に歴代社長の御靈の前に進んで[illegible]、次いで大東亞戰に華と散つた救護看護婦今井久さん（群馬縣）外五十八柱の救護殉職者祭がしめやかに執り行はれ文[illegible]の祭詞があつて散會した

大相撲春場所
初日は一月十日

【東京發同盟】昭和十八年一月の春場所を[illegible]大日本相撲協會では十六日午前十一時から[illegible]で[illegible]、同席上番附發表は一月五日、初日は同九日、十日初日を發表した

燃料節約の合理化
けふから全國一齊に强調週間

【東京發同盟】決戰下の冬を迎へて燃料消費節約の合理化を圖るため十六日から二十二日まで全國一齊に實施される燃料週間の講演會、放送、映畫、展示會、移動展覽會等を主とする行事が決まつた、週間用ポスター數萬枚も既に配布され中央では東京を始め工場會社、一般家庭に至るまで燃料節約とその合理化に協力する

講演會（一般）東京、大阪、名古屋、福岡等で開催、映畫「戰ひの力」「起て日本」を無料公開で特別試寫し十九日から全國封切、生産工場では燃料管理に對する研[illegible]

週間第一日行事

【東京發同盟】十六日は「燃料節約强調日」決戰下の冬を迎へて燃料消費の節約と合理化を圖り[illegible]に少しでも多く供出しようとの日本全國の各工場、事業場では燃料に對する關心を高めたが一般家庭にもこれが實施强化を期するため夜六時から商工、厚生、鐵道、遞信各省[illegible]の下に燃料協議會を[illegible]主催で東京[illegible]水[illegible]太郎氏、[illegible]

東京―昭南 今夜交換放送

【東京發同盟】銃後と南方各地を[illegible]

昭南に於ける交換放送は四日の東京[illegible]、昭南、バタビヤ、マニラ等の共榮圏各地の邦人[illegible]放送局で[illegible]を收めたので東京中央放送局では第三回の交換放送を今十六日夜九時のニュースに引續き昭南との間に行ふ、先づ昭南から最近スマトラから歸つた[illegible]德川義親侯、昭南特別市長大達茂雄氏、日本[illegible]長井[illegible]一郎氏が夫々マイクの前に立つて南方の近況、内地への要望を述べて現地からの聲を[illegible]し次いで東京の和田[illegible]氏、昭南の[illegible]氏の間にニュースを交換し合ふ

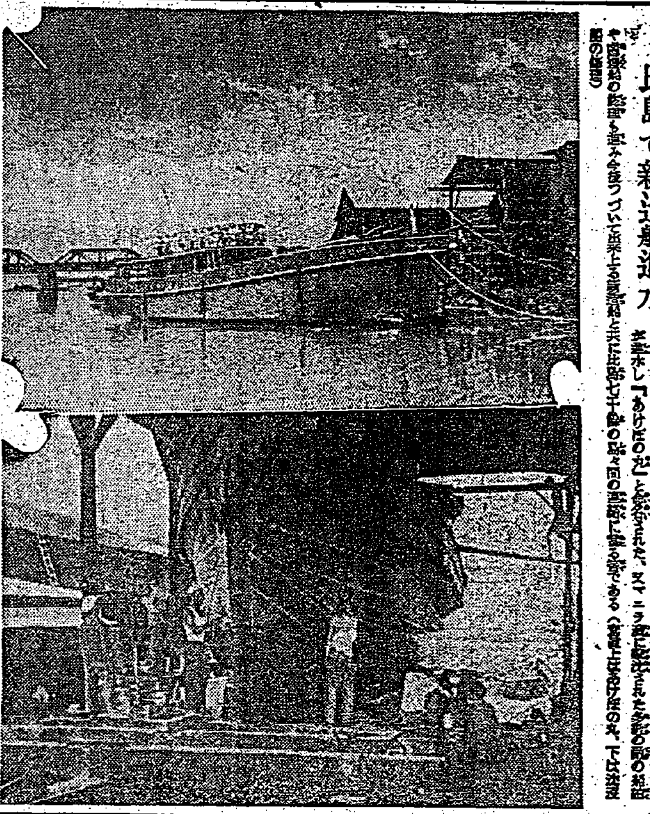
大好評 晩秋に贈る 懷しの臺灣旋律 最近の傑作
夕日の街
雨の夜の花
コロムビアレコード

今夜の番組

第一放送 ▲六・〇〇 少國民の時間、シンプソン、少國民講談「黑潮[illegible]」[illegible]▲七・[illegible]ニュース[illegible]▲八・〇〇 [illegible]▲九・[illegible]▲一〇・〇〇 今日の戰況と[illegible]ニュース

第二放送 ▲七・二〇 時事解說▲八・〇〇 [illegible]▲八・三〇 ヴァイオリンとフルートとチエロ獨奏（レコード）ヴァイオリン獨奏G線上の歌調[illegible]其の他

比島で新造船進水



[illegible]の船は現地にて比島の[illegible]に多數の住民が協力してこの[illegible]三百トン級の船が[illegible]進水し「あけぼの丸」と命名された、又マニラ港に[illegible]された多數の船[illegible]や造船の機能も進み今後つづいて出來上る造船と共に比島七千餘の島々間の[illegible]に當る筈である（寫眞上はあけぼの丸、下は進水臺の[illegible]）

少年乘馬練習所で新入生募集

臺北州乘馬會では[illegible]馬事を通して少年少女の心身鍛錬に寄與すべく昭和十二年四月川端町乘馬練習所に少年乘馬練習所を設置以來既に五三八名の修了者を出し[illegible]に貢獻しつつあるが、今回來る十二月一日から練習開始の新入所生を左記に依り募集する

▲募集人員約二十名▲入所資格中等學校以下の男子生徒兒童にして身體强健志操堅實なるもの▲願書受付締切は十一月二十一日迄、入所許可者發表は二十二日（日）午前十時川端町少年乘馬練習所に於て行ふ▲願書用紙其他は臺北州廳並少年乘馬練習所に準備してある

學徒の美擧

【基隆電話】基隆市田寮町一九[illegible]臺北工業學校生徒[illegible]君は去る九月十七日同町一九の運河に落ち溺死しかけた幼兒一名を救助して表彰されたが去る十月三十日市兵事課を訪れ陸海軍國防獻金として表彰金をその儘獻金した

商業實務講習

臺北商[illegible]内同窓會[illegible]では[illegible]所第二十回實務講習生を募集することになつた、入所希望者は同校庶務課へ四錢切手封入申込み照會せられたいと、締切は十二月十五日まで募集人員七十名、國民學校卒業以上の學力を有するものに限る

大東亞戰爭一周年
病院船で聽く"開戰"
船中に感激の萬歲を奉唱

【サイゴン十四日同盟特派員發】破竹の勢ひで[illegible]の戰果を手にして早くも一周年大東亞戰爭は見送へるばかりに誕生した、この間記者はマレーにジャワに從軍して

皇軍 の强さと伸びゆく日本の盛力を眼のあたり目撃してきたが最も强く灼きつけられた印象は八日早朝〇〇沖合の船上で迎へた歴史的開戰の感激の瞬間であつた、大東亞戰爭前夜我らを乘せた〇〇病院船は暗黒の支那海を南へ南へと走つてゐた、眠られぬ夜をかこつ我々は船内娯樂室に船醫部隊長等と共にテーブルを圍み臨戰命令を聽いてゐた、期せずして日米交渉を中心に盛んに論戰が交された、乘船當初から發行されてゐた船内ニュースは同交渉の一進一退を報じいよいよ危機を思はせた、深夜甲板に出ると船内は完全な燈火管制で、無氣味な沖上を一つの眞黑な塊りとなつて船は進んでゐた、闇の中にかすかに見える船側の右に左に赤十字旗が妖しくきらめき水平線を[illegible]ところに燈火の灯が一つ鈍い閃光を放つて明滅するのが認められた

危機 を孕む南溟へ乘り出したといふ緊張感がひしひしと身に迫り『今に見ろ』と闘魂がむらむらと腕を衝いて出る、明くれば八日早朝、海は相變らず靜かで鉛を流したやうな黒潮が大きくゆれてゐる、水平線の彼方にかすかに陸地が見え始め、山脈の起伏が[illegible]に頼つては切れて靜かに流れたはつてゐる、こともなげな平和な姿であつた、その時であつた、記者室の一隅に陣どつてゐた同盟無電班が緊直した形相で全神經をレシーヴアに集め無線機にしがみついて東京からの放送に耳を傾けた、このただならぬ空氣、瞬間遂に來たといふ感激が腕をついて走つた、皆いひ合したやうに無言のまま無電機をとり圍む、鋭い緊迫感が無氣味な靜けさの中に神經に突入るやうにちいんと流つてゐる、東京

放送 を[illegible]しとうてゐるオペレーターの手先はかすかに震へさへ帶び、『我軍は今曉西南太平洋に於て米英と戰鬪狀態に入れり』トツプがこれであつた、數刻を經過された後畏くも大元帥陛下には英米に對し宣戰の御詔勅が下された旨發表された、ほんの一瞬の間息詰るやうな沈默が續く、かすかに響くエンジンの鈍い音がかへつて室内の靜寂さを倍加させ眼に見えない神聖な[illegible]氣がみなぎる、次の瞬間この張りつめた沈默をつき破つて心の底からどよめきが湧き起つた、"遂々やつたな"お互の手はしつかりと握り交され、餘りの興奮に手の力がこもるばかりで、二の句がつげなかつた、急を聞いて馳せつけた將校達もこれを聞くと誰彼の區別なく「おめでたう」の連呼に續いて「萬歲々々」の聲はまづ新聞記者室の一角から湧出し、つづいて將校室から更に

兵隊 部屋へと怒濤の如く流れて行つた。續いて海軍大[illegible]の[illegible]大戰果が發表されるや船内はいやが上にも沸きたつ、我々がかつて夢想だもしなかつたこの大戰果がいま現實となつて眼前に展開されたのだ「我等の無敵陸海軍萬歲」の聲が全船をおし包んだ興奮醒めやらぬ人々は一隊に甲板に上り深々と潮風を吸ひ大きく胸を張つた、日本を背負ふ力强くも頼もしい門出、何れもこの歴史的擧に際會した男子の喜びあふれた出發にじつとしてゐられない衝動を覺える、[illegible]に翻はせてゐた船尾の日章旗は眞新しいのと代つてゐた、南へ進む日の御旗、合掌して拜みたいほど有難さがしみじみと胸を打つ、やがて部隊長の指揮のもとに甲板上に整列、はるかに宮城を遙拜する

萬感 胸にこもつて思はず熱いものが頬に迸つた、そして全世界に轟けとばかり君が代を合唱し、萬歲が三唱された後〇〇部隊長は[illegible]をしつかり握りしめて十年前の日本はシンガポール攻略、ハワイ空襲などは一片の夢物語に過ぎなかつた、然し日本は現在それを敢行しつつあるのだ、十年前の夢を現實にするにはその間諸君の研鑽は並々ならぬものではなかつた、矢は既に弦を離れた、間もなく日の丸が、軍艦旗がシンガポールの港にはためき、[illegible]が赤道を越え[illegible]を揮ふであらう

と叫ぶ、部隊長の[illegible]には決意のほどが窺はれた、次いでわが軍マレー半島に敵前上陸の快報が齎された、わが意を得たりとまたしても萬歲のどよめきだ、やがて船は溢れる感激を乘せて〇〇岬にさしかかつた、眩しいわが御用船の群が日章旗の赤さを

印象 づけながら河口に待機してゐる、ふと見上げると河口を扼す山上には要塞砲が無氣味な砲口をどちらに向けたまま[illegible]かへつてゐる、船は靜かに遡航して行く、途中両岸に立ち並ぶ[illegible]スタンダード・オイル會社の深山のガソリンタンクの上には早くも日章旗が鮮かに立ててあるのが眼にしみる、あのやうに日章旗がこれから何處までも伸び、何處でもこれを仰ぎ見ることが出來るかを思ふと今にも第一線へ飛び出して行きたいやうな衝動にかられる、數時間後暗闇のなかを波止場につくだが[illegible]を味はふには餘りにも[illegible]が緊張してゐた、[illegible]な中を兵隊達が物をも言はず忙しく右往左往してゐる、暗にすかして見ると埠頭には倉庫から溢れた物資の山が延々と續き、これ等の整理に忙殺されてゐるのだ、最前線の

兵站 基地といふ感を身近に感じて一層緊張が加つた、前線へ前線へと進撃する兵隊に遲れないやうに食糧彈藥が一瞬の休みもなくここから送り出されたのである、そして幾分の間夜もろくろく寢ずに戰ひ拔くであらう兵隊達の苦勞に[illegible]ものを感じつつ明日への感激を胸にして上陸第一歩を印したのだつた【大本營許可濟】

三國志
（赤壁の卷）
吉川英治作
矢野橋村畫

(907)

一股傷折（二）

先の夏侯淵が敵に捕へられたとあつては、夏侯淵としても默つて措くこともならず、さりとて一途に攻めて、却つて夏侯尚を殺められては何にもならず、彼は夜も眠らずに、苦慮した。

そして考へた案は、陳式と夏侯尚との俘虜交換であつた。先づ黄忠の元に、

「陳式いまだ生きてわが陣にあり願はくは夏侯尚と換んことを」

と申送つた。黄忠からも、

「われも又望むところなり。すなはち明日、陣前に於て快よくこれを交換せん」

と、返辭があつて、交換は成立した。

翌日。

陣鼓ともに、山間の廣き場所に出て、それぞれ陣を張り、黄忠と夏侯淵はみづから馬に跨がつて出合ひ、

「彼の將、夏侯尚をつれ申した」

「此の將、陳式、返し申す」

と、陣營の上、武者から解放された二名を、[illegible]く交換すると、

「ヤツ」

とばかり聲を合せて、自陣に引上げたが、夏侯尚がまさに、自列に入らうとする時、どこからか、一本の矢が飛んで來て、彼の背にあたり、ばたりと地上に斃れた。

黄忠の家[illegible]、彼の射た矢であつた。

夏侯淵は大いに怒り、黄忠めがけて馬を飛ばし、討つてかかつて十餘合戰ふうち、魏の陣に突如[illegible]の鉦が鳴り響き、一せいに兵を收め始めた。

何事か。と夏侯淵は疑ひを起して黄忠との刃合せの隙を見て戻らうとすれば、黄忠は敵の動搖に乘じて勢ひこめてうつてかかり、陳式もまたさんざんにはめられて逃げ戻つた。

本陣に辛うじて着いた夏侯淵は氣も荒々しく怒り。

「ばかめ、何で鉦など鳴らしたのだ」

と詰問したところ、すると、

「あの時、四方の山の間より、にはかに蜀の兵が起り、蜀の旗が無數に現はれたので、おそらく伏兵であらうと思ひ、兵を收めたのです」

との返事なので、怒りのやりばもなくなつてしまつた。

それから夏侯淵は固く守つて出ようともしない要心ぶりを示した。黄忠は、徐ろに定軍山に迫り、法正としきりに作戰を重ねた。

けふも、法正を伴つて地形を調べてゐると、法正は遙か山を指して、

「定軍山の西に巍然として聳えた山がありませう。あの山容を見ますと、四方みな嶮岨で容易には上り得ないところと思へます。もしあの山を攻め取れば定軍山の敵陣は一望にあり、[illegible]、敵の陣容は手にとるやうに知れませう、さすれば、定軍山の攻略も易きことと存じます」

といふ。黄忠もと、それを聽きながら、その山を仰げば、相當な高さの山で、山上は、幾分平かに見え頂上附近にわづかの兵が守つてゐるらしいのが分る。

その夜二更、黄忠は兵を引いて、鉦を鳴らし、鼓を打ち、喊をつくつて氣勢をあげてこの山に攻め上つた。

この山は、魏の部將杜襲が、數百の兵を以て守つてゐたが、突如蜀の大軍が攻め寄せると知つて、戰ひを交へることもなく、逃げてしまつた。

[illegible]に攻略を終つた黄忠は、定軍山と並び占めた位置を利して、[illegible]

法正はその頂上に[illegible]いて兵略を立てた。

「敵が若し、攻め寄せて來ましたなら、味方の兵を二部して動かす、敵の陣が退いてゆくところを見定めて、白旗をかかげ、それを合圖として、將軍みづからも、山を下つて討つてかかり、敵の陣營への崩れたところを攻め捨てれば、これ即ち逸を以て、勞を待つの計となりませう。必ず大將を討ちとらせることも可能です」

黄忠も、この言にうなづいて、早速に、明日を期して先づ[illegible]の來襲をうながすやうにと、山中の陣所に旗を立てさせ、兵を駈かしたりして、しきりに誘敵戰法をはじめた。

大本營陸軍報道部提供
航空文學會編 大東亞戰爭 陸鷲戰記 價一・六〇 〒・一五
最新刊
歴史を創る不滅の武勳に輝く空の勇兵は如何に戰ひ、如何なる明け暮れを送りつつあるか。之は陸鷲と親しく起居を共にせる從軍作家の貴重な報道文學集である
文化奉公會編 陸軍報道班員手記 各冊一・五〇 〒・一五
第一輯・マレー電擊戰
第二輯・バタアン・コレヒドール攻略戰
第三輯・ビルマ戡定戰
店頭にあり 大日本雄辯會講談社

朝の一滴！夕の二滴！
薫のミルク

妊娠時に
高單位B_1＋他B複合體
……エビオスB_1錠の投與は胃腸弛緩、脚氣症狀、倦怠などを矯正し、全身的に榮養を佳良にするのみならず妊娠脚氣、妊娠性神經炎、その他ビタミンB_1缺乏による障碍を是正し……妊娠經過を良好ならしむ。
二〇〇錠 [illegible]
エビオスB_1錠

心臟 胸.胃の强化に
特種動物ホルモン精膽藥
心臟の病で苦しむ人
脈膊や脈のよくない人
胃弱で食慾の進まぬ人
ね汗で夜分ね苦しい人
心臟脚氣で苦しむ人
動悸や息切れ、ね汗や熱を鎭め、芯から健康體に！
朝一粒・夕一粒
ホルモン動物の藥成分である、麝香、犀角、熊膽、牛黄、[illegible]外數種の精髓を配伍した『救心』は、内臟への同化が早く、綜合作用で病因から手當し、血行と抗病ホルモンを増して健康體に導くので評判です
救心
發賣元 救心本舗 [illegible]

臺灣總督府官報
月極購讀 一ヶ月 四拾五錢
外ニ月別保存用官報 一冊 金九十錢
發賣所 臺灣日日新報社
島内各地 臺日取次店

産後の衰弱
榮養の不足が肥立を遲らす
産婦は榮養や乳汁分泌を[illegible]し抵抗力を増進するため「錠劑わかもと」が常用されるのは、本劑のビタミンB群が消化吸收よく、またアミラーゼ・プロテアーゼ・リパーゼ等も併有し、榮養の[illegible]に奏效を發するからです
錠劑 わかもと
東京 わかもと本舗

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

南太平洋海戰大戰果詳報

敵戰艦一、空母三擊沈
敵機の喪失二百機以上

【東京發同盟】大本營發表（十六日午後三時三十分）曩に發表せる南太平洋海戰戰果に關しその後到達せる詳報により調査の結果左の如く判明せり

一、**敵艦船**　擊沈　戰艦一隻、航空母艦エンタープライズ、同ホーネット、大型航空母艦一隻、巡洋艦三隻、驅逐艦一隻　大破又は中破　艦型未詳三隻、驅逐艦三隻

二、**敵飛行機**　敵上空空戰により擊墜せるもの五十五機以上、味方上空空戰並びに艦隊砲擊により擊墜せるもの二十五機、その他敵航空母艦沈沒に伴ふ喪失機數を合し總計二百機以上

【註】ミッドウェー強襲において擊沈を發表せるホーネット型はヨークタウンなりしこと、又エンタープライズ型は損傷を受けたること並びに珊瑚海海戰において擊沈と發表せるヨークタウン型は特設航空母艦なりしこと判明せり

擊沈破敵艦艇八十隻
敵機擊墜破七三八以上

第一次ソロモン海戰以來の戰果

【東京發同盟】八月七日の第一次ソロモン海戰より十月二十五日までのこの方面における戰果、十月二十六日の南太平洋海戰及び去る十二日ガダルカナル島所在敵艦艇擊滅戰に至る約百日間における敵艦船種別擊破數並に飛行機擊墜破數は左の如くである

	擊沈	擊破	計
戰艦	一	二	三
航空母艦	四	四	八
艦型未詳	〇	三	三
巡洋艦	二五	四	二九
驅逐艦	一六	九	二五
潛水艦	九	一	一〇
掃海艇	一	一	二
計	五六	二四	八〇
輸送船	一六	六	二二

飛行機擊墜破七百卅八機以上

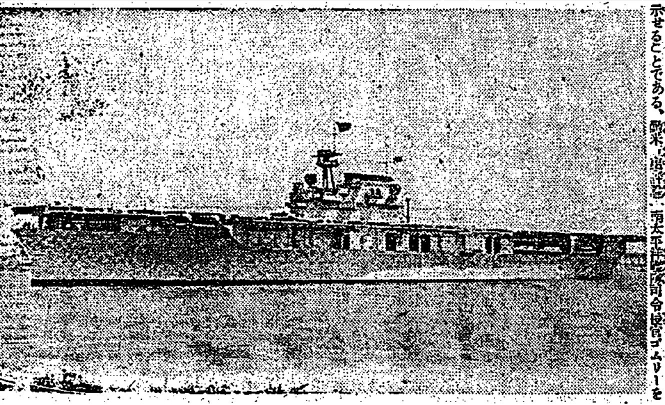
銘記せよ執拗な反擊
銃後の責務は一層重大

【東京發同盟】一大反攻出擊を敢行せる敵米海軍を先般十月二十六日サンタクルーズ島北方洋上に敵所在主力を捕捉擊破せる南太平洋海戰以來帝國海軍は[illegible]一部を[illegible]續々[illegible]を[illegible]し來る執拗なる敵攻略企圖を[illegible]所に[illegible]目下[illegible]なる[illegible]を續行中であるが大本營はソロモン近海におけるこの一連の大海戰中至大の意義を持つ南太平洋海戰につきその後の詳報及び[illegible]を基礎とし[illegible]なる檢討を行つた結果戰果を公示し[illegible]たる自信と共に敵側[illegible]を[illegible]し去つた、今回の發表に見るが如く敵艦艇の擊沈は十月二十七日の第一次發表に比し三隻を增加しわが先般[illegible]に始まる同海戰がわが[illegible]勝利に終始し[illegible]の作戰を[illegible]めて有利に[illegible]せしめたることを示してゐるが、この際特に注目すべきは擊沈空母中の二隻をエンタープライズ及びホーネットと確認、敢てミッドウェー强襲及び珊瑚海海戰にまで遡りミッドウェーにおいて擊沈と發表せるホーネット型はヨークタウンなりしこと、また同樣擊沈と發表せるエンタープライズ型は損傷を受けたること並に珊瑚海海戰において擊沈せるヨークタウン型は特設空母なりしことを率直に發表し寸毫も忽せにせざる大本營の矜持を顯示せることである、[illegible]

偉大な戰果に感激
丹羽文雄氏は語る

【東京發同盟】敵國米英軍を失意の底に叩き込んだ無敵海軍の南太平洋に於ける輝く綜合戰果が發表された、說く迄もなく正確を期して堂々世界に問ふ我が「大本營發表」の嚴肅な意思が今又發表にも盛られて大東亞共榮圈十億民衆の胸底に勝ち拔かねば已まぬ日本精神の新らしい感激が湧き立つたのだ、あの日、第二次ソロモン海上に交へられた壯烈な海戰を身を以つて體驗、此の體驗記した從軍作家、丹羽文雄氏に國民としての素朴な感激に滿ちた談話を聞く

全く偉大な戰果だ、言葉では表現出來ない程だ、この嚴肅な事實には唯々感激するばかりだ、海軍の御好意で實際に海戰を此の目で見、此の耳で聞いて體驗した私であるが、此の大戰果を內地で聞いて今更の樣に帝國海軍の壯烈な戰闘精神に頭が下るばかりだ、又帝國海軍が如何にその戰果に對して正確を期してゐるかは今度の發表でも十分窺へるが、海戰に於ける敵艦擊沈の判斷は我々の想像以上に困難なもので例へば飛行機の上から觀察してゐる場合等見分等の關係で戰艦等非常に判りにくいものだ夜戰等で敵軍大艦[illegible]れて必死に逃げてゐる時は相手を確かに擊沈したと判斷しても帝國海軍は正確に判明しなければ決して發表しない、しかもその一方敵國に至つては[illegible]位なほんのかすり傷を受けた場合でも必ず味方の損害として小破、中破として發表してゐるのだ、或は敵國でどの樣な澤山の敵の軍艦を擊沈しても我が將兵は決して[illegible]を殊に現はさずぢつと來るべき次の戰ひに備へてゐる姿はむしろ壯嚴と云つてもよい、無敵海軍の一つの素顏である、これを米英のデマ報道と較ぶれば全く武士道に生きる日本海軍の偉大さが解ると思ふ、私が從軍して特に感じたのは帝國軍人は皆日本人としての素朴な姿に生き拔いてゐることだ、この素朴さからあのやうな壯烈な戰闘精神が生れて來るのだ、これを思へば銃後の國民はもつともつと反省して日本人としての素朴な姿に歸る必要があるのではないか今は益々強大され深刻なものになつて來てゐる、我々日本國民は帝國海軍に萬全の信頼と感謝を捧げると同時に大和民族としての誇りを忘れず常に雄々しい道程に堪えて生きなければならないと信ずる



擊沈された米空母エンタープライズ

【[illegible]】米ウイリアム・ウインターは南太平洋は米國の最大の戰略要地なりと認定しまたルーズベルト及びノックスの片腕[illegible]も[illegible]くこれが[illegible][illegible]

反樞軸新政權を樹立
ド・ゴール同樣の傀儡

【リスボン十五日發同盟】[illegible]

ジロー米に寢返り
驚愕の佛政府聲明

【ヴイシー十五日發同盟】アヴァス通信、フランス政府は左の聲明を發表した　ジロー將軍は公然ラジオ放送をもつてフランス國民に叛亂を勸誘せしめた[illegible]

輸送船五七隻擊沈
獨伊一週間の大戰果

【ローマ十五日發同盟】[illegible]

新國民運動と結び
戰爭一周年國民大會
八日を中心 五行事も力強く展開

【東京發同盟】大東亞戰爭一周年を迎へ[illegible]

軍人援護強調運動

滯貨一掃協力

給員感謝援護

必勝貯蓄強調

[illegible]

下期送炭特別獎勵金
噸當り二圓に決定

【東京發同盟】[illegible]

海陸輸送の一元化
港灣、陸上運送業統合
綜合輸送力の飛躍增强

【東京發同盟】[illegible]

第一、方針　[illegible]

第二、要領　[illegible]

第三、措置　[illegible]

通信、鐵道兩當局談

[illegible]

ペタン元帥布告

【ヴイシー十五日發同盟】フランス國家主席ペタン元帥は三軍總司令の資格をもつて十五日次の通り布告した　ジロー將軍はフランス政府に對する忠誠の誓ひを破り自己の名譽を汚つた現在同將軍はアフリカ軍の指揮權を余から與へられたと稱してゐるが右は全く事實に反し同將軍は軍司令官の職域を[illegible]ある、余はジロー將軍が余の命令に基き行動してゐるが如く裝ふことを絕對に禁止する、フランス全軍の將兵は同將軍の命令に從つてはならぬ、諸君の總司令官は依然として余一人である

人事

▲山本[illegible]氏（[illegible]）十內地より歸臺
▲佐藤[illegible]氏（[illegible]）十六日南北

翼賛會合同
會議は終る

【東京發同盟】[illegible]

産業戰士感謝援護

[illegible]

ウテナクリーム
お肌の護りに!
寒さに負けぬ
強く美しい若肌を養ひませう!!
洗顔後・入浴後に・肌アレ豫防に

婦人の爲めの良書選
窪川稻子著　日々の伴侶　價一・六〇 〒一六
村岡花子著　母心隨想　價一・五〇 〒一六
村岡花子著　心の饗宴　價一・五〇 〒一二
鳴海碧子著　結婚教育　價一・五〇 〒一二
鳴海碧子著　結婚建設　價一・五〇 〒一二
鳴海碧子著　結婚讃歌　價一・五〇 〒一二
城夏子著　歡びの書　價一・五〇 〒一二
河野不二著　山の素顔　價一・八〇 〒一六
東京牛込神樂坂通り　時代社　振替東京一六四一八

新刊　工學博士 大熊喜邦著　東海道宿驛と其の本陣の研究　附・中山道宿驛と本陣　A5判五〇〇頁　價九・〇〇外〒〇・八〇
新刊　三吉朋十著　比律賓の土俗　B6判五四〇頁　價二・八〇外〒〇・八〇
東京市日本橋區通三丁目　丸善株式會社　大阪・京都・名古屋・福岡・仙臺支店

第一生命の決算好調
□當社は去る八月末日第四十年度決算を締切り十一月十五日の社員總代會に於て決算相成候間加入各位に御報告申上候
□年度末資產高　六拾壹億五千七百萬圓　前期末に比し　十一億九千二百萬圓增加
□新契約高　拾參億六百萬圓　前期に比し　一億五千七百萬圓增加
□年度末契約高　九[illegible]億四ノ百萬圓　前期末に比し　二億六百萬圓增加
□收入保險料　貳億貳千參百萬圓　前期に比し　四千一百萬圓增收
□利息及配當收入　參千九百貳拾萬圓　平均運用資金に對し　五分一厘五毛
□死亡保險金　四千八百六拾萬圓　死亡豫定に對し　七割四分一厘
□事業費　參千參百拾萬圓　收入保險料に對し　一割四分八厘二毛
□責任準備金七億五千九百萬圓、配當準備金九億四百萬圓（[illegible]）にして責任準備金と時價資產との開きは[illegible]五千五百萬圓なり。
□本期剰余金[illegible]を有す。
東京・日比谷　第一生命保險相互會社　電話丸ノ內(23)（二五一〇）（七一七一）
案內書贈呈

新版　松本信次著　配給經濟學入門　價一圓八〇錢
生產力の增强、配給の圓滑化、消費の適性、其何れもが戰時經濟の喫緊事である本書は廣汎に亘る複雜な經濟現象及配給組織を極めて平易明快に解說し、現下萬人の要望に答へると共に、特に文部省高商新學課課程に準據して著述せる商業學の絕好の敎科書並に入門書。
持株會社の會計　日本民族論
原價價格計算　日本經濟沿革史
商法　南方石油經濟
大東亞經濟の理論　大東亞經濟地理
新刊　町田義一郎譯　アメリカ對外政策に於ける金融問題　價三圓
敵陣營の政治經濟的指導勢力たる米國對外政策の根柢をなせる國際金融問題をその外交政策との關聯に於て分析し、ドル外交の眞相を衝いて政治と經濟の相互關係を闡明せる學究の書。特に來るべき世界新秩序の金融政策に多大の示唆を與へる著。
所得稅及法人稅
千倉書房

社説

米國の焦躁振りと消耗戰

ソ群島海域で敗戰つづく

一

いよいよヤンキー式正體を本格的に示して来たアメリカ最近の動向は、その本質を仔細に檢討することに依て、寧ろ我國側に歡迎さるべきものであることを明かにしてゐる。殊に最近佛領モロッコ及アルジェリアにおける米軍の不法侵入の如きは、[illegible]を根本的に清算させたのみか、米國に取つては兵站線を新たに大西洋を隔てたアフリカ大陸まで延ばし[illegible]兵器消耗を長期間に亙つて継續せねばならず、[illegible]相當な重荷であることは間違ひない。これ吾等東亞國民に取つては寧ろ歡迎すべき米國の[illegible]と評する所以である。既にその上、太平洋においては"南太平洋の孤児濠洲"を抱へて四苦八苦を続けねばならず、その上、更なる敗戰の窮状を國民の手前何とか取り繕はねばならぬ弱味もあつて、最近ますます狂躁と焦躁とを露呈し其の都度大敗因を醸してゐる現状に在る。

二

アメリカが最近になつて太平洋作戰第一主義を執り、國民から罵倒され出した海軍の無能振りに對する各種批難からも、積極的に反撃に出るであらうことは推測されるところである。四月十八日の東京空襲は、ヤンキー式なスポーツ的冒険味の一つの現れでしか無いとしても、去る八月七、八兩日に亙る第一次ソロモン海戰こそは、米國が心臓をとめて反撃して来た最初の作戰行動と見ねばならず、[illegible]

[illegible]

三

この調子でみると、[illegible]太平洋方面勢力は、殆ど擧げてソロモン海域で次から次と[illegible]

多年の懸案實現へ

農業團體統合斷行

食糧と重要農作物增産

政府の國策遂行に協力

【東京電話】[illegible]

農業團體統合要領

一、基本方針　[illegible]

二、統合さるべき團體の範圍　[illegible]

三、團體の組織　本團體は中央、道府縣及び市町村毎に地域別單一團體として[illegible]

四、團體の性格　[illegible]

五、團體の指導監督　（一）[illegible]

六、町村と農業團體の關係　[illegible]

七、團體經營の取扱　[illegible]

長期戰必勝經濟政策　七

總力增強の根本策

戰時經濟の本義に徹せよ

賀屋藏相

本社　大東亞戰爭は一ケ月の後に一周年を迎へ、愈々長期戰を戰ひ抜かねばならない譯ですが、この長期戰を戰ひ抜くために戰時經濟の根本は、どういふ點に置かねばならないでせうか

藏相　戰爭を遂行して行くための國力は經濟でも戰爭でも戰爭をしながら[illegible]

[illegible]

（つゞく）

木炭配給統制規則

督府山林課公布を急ぐ

[illegible]

貯金、貸付金は激增

島内の產組事業を見る

[illegible]

會社設立、株拂込

十月中の認許可發表さる

[illegible]

臺糖の始業

三崁店の本月廿八日が第一着

[illegible]

增資含み株中心

諸株珍しく一齊安

[illegible]

硫化鐵鑛を調査

督府小笠原技師は語る

[illegible]

食糧の不安一掃

ドイツ食糧確保に成功

[illegible]

日本海運協會

改組後初協議

[illegible]

綠肥の栽培

その效果は絶大

[illegible]

實績調査を完了

木材組合を會社組織へ

[illegible]

商況（十六日）

長期重點　株暴落す

兜町前場況　[illegible]

兜町後場況　[illegible]

東京短期前場　[illegible]

東京短期後場　[illegible]

東京長期前場　[illegible]

東京長期後場　[illegible]

東京短期日步　[illegible]

東京長期越取組　[illegible]

東京銀行當株　[illegible]

東京國債前場　[illegible]

大阪短期前場　[illegible]

大阪短期後場　[illegible]

大阪短期日步　[illegible]

橫濱生絲前場　[illegible]

橫濱生絲後場　[illegible]

不動產金融

日本勸業銀行

台北・台中・台南・高雄

新亞細亞

濠洲戰時經濟の發展・伊藤孝一

南方軍票流通策・市川[illegible]

南方圏の棉花[illegible]

東南亞の電化計畫・[illegible]

モロ戰爭・[illegible]

タイ人の家庭生活・[illegible]

滿鐵東亞經濟調査局

第十次　投資信託　募集

一、申込單位　[illegible]

一、信託期間　五ケ年

一、申込期間　十一月廿一日迄

注目すべき要點

一、投資信託の妙味

一、投資方法

野村證券

咳を治せ

たんせき　ぜんそく

[illegible]

龍角散

整髪に簡便！

よい香り　よい整髪　よい効果

毛髪チック

★大東亞戰爭一周年記念號★

主婦之友

冬のスーツと子供服

子供服とオーバーの型紙

手袋靴下の實物大型紙

子供の病氣の療法

赤ちやんの躾け方秘訣

潜水學校　岩田豊雄

海軍魂を語る

決戰訓　東條英機

比島從軍記　尾崎士郎

十二月號　主婦之友社

海鷲輪型陣へ肉彈突入

巨艦[illegible]

南海戰詳報　太平洋

海鷲・輪型陣へ肉彈突入
巨艦沒す"劫火の海"へ
聽け・擴聲機が傳ふ赫々の戰果

南太平洋海戰詳報

【東京發同盟】[illegible]〇〇艦上にて[illegible]第一次ソロモン海戰以來[illegible]を重ねつつも何とか頽勢を挽回せんと狂奔し來つたアメリカが今度こそはと大規模に仕立てた空母部隊を中心に戰艦、巡洋艦及び驅逐艦などを多數配した機動部隊がサンタクルーズ諸島北方海上に出撃して來た、[illegible]數十日來遂に所在を探り得たわが[illegible]は機を逸せず直ちに電光石火の如く斬込んで勇猛敢爲文字通り血みどろの激戰を交へて敵艦隊を撃沈或は大中破しアメリカは又復潰れとなつて逃げ去つたのだ、以下は[illegible]に配された記者が空母〇〇艦上にて見た激戰の一齣である

十月二十六日午前〇〇時、明けやらぬ空に突如敵のP・P・Y飛行艇一機が飛來し無謀にも爆彈數發を海上に投げ込んだまま南方へ避退した、敵はこの附近海面の夜間哨戒をやつてゐたのだらう、然しこれが南太平洋海戰の發端であつた、日の出前には偵察機隊が敵を索めて勇ましく母艦を飛立つた「けふこそは敵を迎へてくれ、そして無事に歸つて來てくれ」海上に一機二機と消えて行く戰友を心から拜んだ、朝食後「搭乘員總員配置につけ」といふ命令が艦橋を通じて全艦に響き渡つた「さあ來い」今は只偵察機からの報告を待つばかりである一時間二時間

緊張の裡に刻々と時間は　過ぎて行く

がまだ何等の報告もないわれわれは敵を求めていらだたしい數十日間海上を走りまはつて來たのだ、午前〇〇時頃だつた、突如傳聲器が「敵戰艦一隻見ゆ」と叫んだ、「敵空母は近いぞ」全員はピリッと神經を引緊めた、偵察機からは待ちに待つた「〇〇の地點に「敵空母見ゆ」との報告があつた、けふこそ決戰だ、攻擊機の[illegible]部隊が[illegible]甲板を蹴つて一齊に飛立つて行く、次には急降下爆擊機隊の出發だ、空母の役目を無事済ませてホツト一息ついた瞬間「全艦突擊せよ」との力強い無電が指揮官機から入る「いよいよやつたな」と思つた、この時わが空母の上空を飛んで敵機の來攻に備へてゐた戰鬪機から「敵機の大編隊來襲す」と報告して來た「來たぞ、アッ見える見える」勇士等は肩を叩き合つて指さす、その方向をふつと見れば敵機は雲の晴れ間から姿を見せたり消したりしてゐる、鳶のやうにわが戰鬪機が敵機をぐんぐん追つて行く突然〇〇米離れた所を同航してゐるわが艦隊が凄じく對空砲火を開始しここに壯絶な一大決戰が展開された、ダダダダダダーン高角砲の發射の閃光で青空も黑煙ですつかり包まれてしまつた、ふと見るとわが航空母艦の周圍にどうと爆彈の黑煙が立上つた、〇〇艦は

黑煙に包まれて一瞬姿が　見えなくなつた

黑煙を吐きながら敵機もばたばたと落ちて行く、煙煙が晴れた、航空母艦の安危や如何と見れば〇〇から黑煙を上げてゐる「アッとうとうやられたか」然し一發しか爆彈は中つてゐない、大丈夫だ、さう思つてゐると今度は直ぐ近くの驅逐艦の後方に一發落ち續いて[illegible]〇〇艦が頭を出した、それが一直線に[illegible]〇〇艦に向つて急降下し見てゐる間にダンダンダンと爆彈したが幸ひ附近には一發も命中しなかつた、わが艦は[illegible]火の海と化した、前面から敵の急降下爆擊隊が一機となつて一直線にわが艦を目がけてやつて來た、味方戰鬪機はもう[illegible]射つ暇さへなかつた、それ程距離が近かつたのだ、わが母艦の命も危しと見るや猛然と驅逐艦隊の一番艦に體當りを[illegible]行く二つは火の玉となつて落ちて來た、次の一機はわが高角砲の餌食となつて火を吐いた、ダーンダーン[illegible]裂ける敵の爆音、耳を劈くやうな[illegible]、その次にはダーンと航空艦を持上げるやうな爆音に[illegible]者は[illegible]甲板上に打つつけた「やられたな」と思ふ

次の瞬間爆音はぴたりと　止んだ

わが高角砲も止んでゐる、戰ひは終つたのだ、これはたつた〇〇秒の戰鬪であつた、艦は飛行甲板の後方から黑煙を吐いてゐるだけでそれを消さうと兵隊がホースを持つて走り廻つてゐた「大丈夫かな」と非常に心配だつたが艦は依然として猛烈なスピードで走つてゐる、黑煙も次第に薄らいで白い煙と變つた、もう大丈夫だ先刻爆彈一つ喰つた〇〇艦も白い煙がかすかに出てゐるだけでもう鎮火したらしい、この時傳聲器が叫んだ、それまでわれわれは敵機の來襲を防ぎ對空戰鬪を續けながらも終始わが攻擊隊の成功を祈つてゐたのだ、その攻擊隊からの報告が入つた「敵空母二隻撃沈せり」ワアッといふ歡聲に續いて天地も裂けよとばかり萬歳を叫ぶ萬歳の聲、感激まつて淚眼がチーンと熱くなつて來るのを覺えた、暫らくして我が攻擊隊から再び敵機來襲の報が齎らされた

"萬歳"敵空母は全滅し　[illegible]

[illegible]

魚雷二本で最後の止めを　刺した

[illegible]

最早これ迄と覺悟を決めた

[illegible]

その一　[illegible]

その二　[illegible]

その三　[illegible]

ふと見ると自分の愛機も　火を吹き出した

[illegible]

島都に颯爽・無軌道電車
市バスの輻湊解消へ對策

[illegible]

運行は　とかく不規則勝ち

[illegible]

混雜を　最小限度に防止

[illegible]

代燃化　による故障車の

[illegible]

耐重性　の如何と

[illegible]

見透を　つけたのでいよ

[illegible]

解消へ　近く無軌道

[illegible]

戰死の跡に墓標建立
故岩村本社特派員の一周忌を前に

【香港支局發】香港攻略戰たけなはの昨年十二月廿三日報道從軍記者として敵彈下を突破、報道陣の戰士として活躍中午前十一時頃九龍にて不慮敵彈の[illegible]、名譽の戰死を遂げた本社特派員の戰死の[illegible]に[illegible]人の手で墓標をたてる事になり思ひ出の一周忌を前にした十一月十五日これが建立式を擧行した、この日各方面から贈られた花輪と多數の參列者で式は盛大且つ嚴粛に終り、引續き故人の追悼會が行はれた

神宮大麻頒布式
あす花蓮港廳で

【花蓮港電話】花蓮港廳では十八日午前十時より昭和記念館に於て本年度の神宮大麻及曆頒布奉告祭並頒布式を擧行する

神宮大麻頒布奉告祭

【新竹電話】新竹州では十六日午前十時半から州會議事堂に於て[illegible]知事以下關係官、多數參列、昭和十七年度神宮大麻頒布初奉告祭並に頒布式を擧行した

全島で新穀感謝祭執行
島都新公園に祭壇設け多彩な行事

來る二十三日の新嘗祭を中心に全島で一週間に亙り新穀感謝祭が盛大に執行されるが新嘗祭當日は皇奉中央本部主催となり臺北州支部及市支會の共同主催にて午後一時半から新公園内に祭壇を設け[illegible]各州廳市郡街庄等でもそれぞれ[illegible]

[illegible]

故淺田兵長の英靈　弔ふ壽庄葬執行

【花蓮港電話】[illegible]

皇軍將兵 防空勤務者を慰問
臨時慰問部委員會で協議

十六日午後二時より[illegible]

[illegible]

頌たう、迎春の歡び
臺北市『歳末感謝週間』實施

[illegible]

結成奉告祭執行
大日本神祇會 新竹州支部で

【新竹電話】[illegible]

秋期産婆學說試驗の合格者決定

[illegible]

一般貯蓄に全力盡す
きのふ皇奉臨時幹事會開催

[illegible]

役員連絡會議
皇奉基隆市支會に

[illegible]

生活科學座談會開催

[illegible]

傷痍軍人の健康診斷

[illegible]

南方農業戰士養成
全島八箇所に錬成場設置

[illegible]

ニッケル貨 白銅貨等も應召
大藏省・重要資源の充當へ全國に檄

【東京電話】[illegible]

米、又復頰被りか
米紙・聯合軍の不利を認む

【リスボン十四日發同盟】[illegible]

"飴"の代りに國債
帝都に拾ふ七五三風景

[illegible]

軍靴修理に勤勞奉仕

[illegible]

第一放送

[illegible]

第二放送

[illegible]

英文大阪每日學習號編輯局編
大東亞戰爭記錄畫報
[illegible]
大阪出版社

兒玉材木店
床廻材 一式
[illegible]

臺中競馬
十一月 二十一日（土） 二十二日（日） 二十三日（祭） 二十八日（土） 二十九日（日）
場所 大肚山競馬場
臺中州畜産會

ベントナイト
石鹼ノ代用ニモ
煉炭木炭ノ粘結ニ良好
火持良シ 火ガ強ク
總代理店 日本ベントナイト興業會社
野田商行

廣告
[illegible]
臺灣デリス集荷配給組合

後期洋裁講習生募集
[illegible]
大和洋裁講習所

會葬御禮
松岡正直

父 田中高
次男英男儀[illegible]
永田義男
古賀主雄
西江稅清

父濱口留治郎儀病氣にて自宅加療中の處[illegible]
濱口千代雄
富太郎
忠三
盛

次男公夫儀[illegible]
笹盛治平
親戚一同
木村德三

會葬御禮
佐々木武也

會葬御禮
村田正義
親戚一同

會葬御禮
三澤悟

相觸れる心の琴線

躍進廣東の多幸を祈念

齋藤長官陳主席と歴史的會見

【廣東支局電話】[illegible]

（寫眞上は會談する陳主席と齋藤長官（右）中は長官（右）と周市長（左）下は野原部隊で隊員を激勵する長官）

建設への勞苦を謝す

周市長とも感激の握手

【廣東支局電話】[illegible]

廣東國民校訪問

日華の提携を強調激勵

【廣東支局電話】[illegible]

貯蓄懇談會

皇奉潮州郡支會で

【潮州電話】[illegible]

世話役錬成會終了

【嘉義電話】[illegible]

含有鐵分三割強

凄いぞ"鐵の山"發見

豐原に擧る銃後の凱歌

【豐原電話】[illegible]

一日三錢貯蓄斷行

第一線に負けるな

嘉義市の貯蓄運動熾烈

【嘉義電話】[illegible]

在郷軍人東分會總會を開催

【臺中電話】[illegible]

敬米標語入選決る

【高雄電話】[illegible]

英氏の美擧

【豐原電話】[illegible]

新化街青年隊査閲

【新化電話】[illegible]

彰管で健民

南方畫壇の意氣

【高雄電話】[illegible]

高雄州聯合保甲協會評議員會を開催

【高雄電話】[illegible]

健脚競ふ七百名

高雄州の強歩錬成大會

【高雄電話】[illegible]

神饌米奉獻式執行

【臺東電話】[illegible]

產業組合研究會

【新竹電話】[illegible]

貯蓄と增産へ拍車

新竹三十萬民意氣軒昂

【新竹電話】[illegible]

國語演習會出場選手決定す

【高雄電話】[illegible]

御下賜金傳達式

宜蘭、蘇澳で嚴かに執行

宜蘭　【宜蘭電話】[illegible]

蘇澳　【蘇澳電話】[illegible]

英靈永久に安かれ

けふ故三田陸軍曹長の市葬

【嘉義電話】[illegible]

"優秀"な出來榮え

臺東廳第二期蓬萊玄米檢收　頗る好成績

【臺東電話】[illegible]

甦る共榮圏の姿　一

戎克も彈む昭南島

[illegible]

（寫眞は昭南海岸の米の山）

赤誠の獻金

軍司令部（十一日）

國防獻金　[illegible]

恤兵金　[illegible]

海軍武官府（十一日）

國防獻金　[illegible]

恤兵獻金　[illegible]

獻品　[illegible]

音樂法要

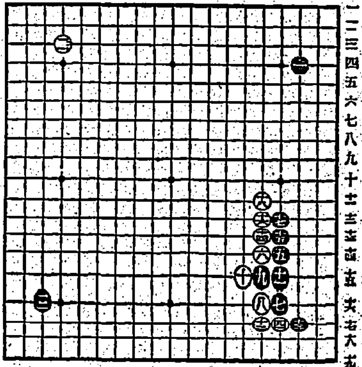
【臺南電話】[illegible]

警察職員賞彈射擊大會

【北斗電話】[illegible]

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九



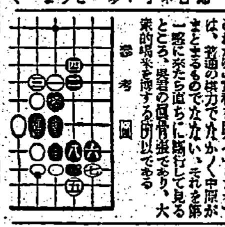
【第○局ノ二】七段　吳清源　五段　長谷川章

白不敗のヌリ

解說　七段　小野田千代太郎

[illegible]

參考圖



愛の赤道（246）

竹田敏彥 作
都竹伸一 畫

常夏の島（十一）

[illegible]

海軍士官 陸軍武官 試驗

易學

神山易學會

[illegible]

根氣が續かぬ……

わかもと

胃腸に 榮養に 便秘に

一日 數錢

新女性ホルモン

中年の奥様へ

ギナンカプセル

友田合資會社

海を制する者は世界を制す

セーラー萬年筆

大阪唯一製粉機專門工場

丸久式製粉機

手廻製粉機　動力製粉機

久保田工業所

プンラ

柴田商店

校長 沖貞男

中野高等無線電信學校

南方共榮圏へ大陸へ

大日本海外青年會

病で惱む方へ

私の全治薬の内容を無料で教へて上げます

ニキビが取れて色白くなる

安藤文子

直ぐ腹が空く

食慾 便通 榮養

ゼーロクミホン

僅か拾錢で

所持品の間違ひと紛失絶對防止？

五十枚一組

各家庭學校會社工場等で大歡迎の家庭ネーム！

取次所 特約店 至急募集

齋藤補工社工場

結婚前後の心得

不眠 便秘 酒毒

リキシン

腦溢血予防に